

## お葬式の流れとやることチェックリスト① 臨終～打合せ～準備

**臨終** …医師による死亡確認、看護師による清拭をうけます。

### 死亡診断書の受け取り

### 帰り先の決定

- ・ 自宅・葬儀社・その他施設など遺体の搬送先を決定します。
- ・ 自宅の立地条件によって、また、近親者のみの葬儀を予定しているなどご近所の方に知られたくない場合は、葬儀社への搬送が安心でしょう。

### 寝台車の手配

- ・ 寝台車はおおむね葬儀社が手配します。葬儀社を先に決めておきましょう。搬送のみを依頼する場合は、前もってその旨を伝えましょう。

**安置** …自宅や葬儀社などで遺体を安置します。

### 枕飾りと防腐処置

- ・ 仏間や座敷など人が集まりやすい場所で準備しましょう。
- ・ 遺体は、頭を北（お釈迦様が亡くなられた時の向き）又は西（西方浄土）向きに安置します。
- ・ 神棚がある場合、半紙などで目隠しをします。
- ・ 地域や宗派によって、一膳飯や枕団子を準備します。

### 枕経（場合によって通夜の時に合わせて行います。）

- ・ 付合いのある寺院がある場合は連絡し、枕経をお勤めいただきます。

**打合せ** …葬儀社と打合せを行います。お葬式に関するほとんどが決定します。

### 日時の決定

- ・ 宗教者の都合、火葬場・葬儀会場の予約状況、家族の都合などを考慮し決定します。
- ・ 「友引」の火葬を避ける習慣があります。“友を引く、”という語呂の問題です。宗派によって気にしませんが、参列者の気持ちの配慮も必要です。家族間・宗教者などと相談しましょう。火葬場が休みの場合もあります。

### 喪主の決定

- ・ 一般的に亡くなった方の配偶者又は長男が務めます。家族で話し合って決めましょう。
- ・ 近しい身内だけのお葬式の場合、喪主を設けない場合もあります。

### 規模（訃報を知らせる範囲）や香典供花についての決定

- ・ 亡くなった方の社会的な付合いを考慮しましょう。近しい身内だけで葬儀を行った場合後日のお知らせが必要であったり、自宅にお参りにみえられる場合もあります。
- ・ 香典や供花の受け・辞退は、出す側の気持ちも考えて決定しましょう。

### 葬儀内容の決定

- ・ 葬儀の飾り（祭壇）や準備物について金銭面と合わせて決定します。
- ・ 葬儀に関する要望はなんでも伝えましょう。（例：お花の希望、着せたい衣装、式場で流す曲、展示したい遺品 など）
- ・ 見積もりの内容はしっかり吟味し、追加や変動のある品目について確認しましょう。

**訃報連絡・死亡届提出**

### 訃報通知

- ・ 通夜・葬儀の日時／葬儀会場の場所（地図）／亡くなった本人の名前／喪主の名前／香典を辞退する場合はその旨 など、電話、FAX、メール、回覧板などで通知します。
- ・ 葬儀社で通知用のフォーマットを準備してもらえるか聞いてみましょう。

### 死亡届の提出・火葬の手続き

- ※ 手続きには**死亡届・認印（シャチハタ不可）・火葬料**が必要です。
- ・ 葬儀社が代行してくれることがほとんどです。
- ・ 死亡届はもどってきませんので、コピーをとっておくとよいでしょう。

**お通夜・葬儀に向けての準備**

### 遺影写真の準備

- ・ その人らしい姿や表情でうつっている写真を選ぶとよいでしょう。

### 死出の衣装や副葬品の準備

- ・ 亡くなった人に着せたい衣装があれば準備しましょう。
- ・ 仏式では白装束（経帷子・草鞋など）を着せるのが習わしですが、副葬品として納棺してもよいでしょう。葬儀社で準備されるのが通常です。確認しましょう。
- ・ 棺の中に納めたいものがあれば準備しましょう。（可燃物のみ少量）

### 喪服、数珠などの準備

- ・ 喪服、靴、数珠など、お通夜・葬儀の際の衣服を準備しましょう。喪服をもっていない場合、購入するか、レンタルを依頼しておきましょう。
- ・ 女性の喪服（着物）は 葬儀当日の正装ですが、体調などを考慮して着用しましょう。

### お布施の準備

- ・ 本来は、後日改めて寺院に伺い、お礼の挨拶をかねてお渡しするものですが、最近は葬儀当日にお渡しすることが多くなっています。前もって準備しておきましょう。

### 受付係員の依頼

- ・ 会社の同僚、町会、友人、親戚 などに依頼しましょう。

### 通夜振舞（通夜後の食事）の内容・数量の検討

- ・ 関東では弔問客にも振舞うことが多いですが、関西では主に親族に振る舞います。
- ・ 通夜振舞は人数が把握しづらいため、寿司やオードブルなどの手配が一般的です。

### 供花・供物のとりまとめ

- ・ 親族や知人から供花・供物の依頼を受けた場合、品物の種類や出す方の名前を確認しとりまとめて葬儀社に依頼します。名前の漢字など十分注意しましょう。

### 喪主挨拶の作成

- ・ お通夜から葬儀にかけて慌ただしくなりますので、時間のあるうちに考えておきましょう。
- ・ これまでのお付けや参列に対するお礼を基礎とし、思い出や決意などを述べましょう。

## お葬式の流れとやることチェックリスト② 通夜当日～葬儀当日

**納棺** …亡き人の衣装を整え、棺に納めます。遺族の手で行える大切な儀式です。

### 着替え・化粧・納棺

- ・ 仏式(浄土真宗を除く)では白装束(経帷子・草鞋など)を着せるのが習わしです。最近ではそれらを副葬品として納め、希望の衣装を着せることも多くなってきました。
- ・ 洋服は、遺体の状況により、着せられない場合もあります。
- ・ 葬儀社の提供するサービスとして「湯灌」「エンバーミング」などの処置もあります。  
湯灌 遺体を沐浴させ、この世のケガレを落とし安らかな旅立ちを祈る儀式です。  
エンバーミング 防腐薬を施すことで、遺体を清潔、安全に保つと共に、元気だった頃のお顔に修復することもできます。(※施行できる葬儀社は限られています。)

### 通夜の儀 開式前

- 供花・供物の並び順や名前(漢字)の確認
- 受付係員への挨拶
- 僧侶への挨拶

### 通夜の儀 (仏式の一般的な流れ)

- ・ 僧侶入場・合掌・開式
- ・ 読経
- ・ 焼香 (※遺族は立礼または座礼にて弔問者をむかえます。)
- ・ 僧侶退場

**通夜振舞** …弔問者へのお礼と亡き人の供養のために食事やお酒を饗します。

- ・ 関東では弔問客にも振舞うことが多いですが、関西では主に親族に振る舞います。
- ・ 親交のある僧侶や受付を手伝ってくれた方にも声をかけましょう。

- 始まりの挨拶と散会の挨拶
- 葬儀・精進落としの出欠確認

- ・ 精進落としは通常個別のお膳ですので、親族が会している間に出席を確認しましょう。

### 最後の夜

### ロウソク・線香の番

- ・ 心身共にお疲れだと思いますので、無理せず体も休めましょう。

### 喪主挨拶の作成・確認

- ・ 挨拶を考えることで、亡き人や自分に素直に向き合うことができるでしょう。

### 焼香順リスト作成・紹介する弔電の選別

- ・ 葬儀の焼香時に親族や来賓の名前を読み上げる場合、焼香順を作成しましょう。
- ・ 弔電多数の場合、葬儀時に紹介する弔電を選別し、ふりがなをつけましょう。

※地域によって葬儀の前に火葬を行う場合もあります。

### 葬儀告別式 開式前

- 精進落とし、その他追加品の注文
- 焼香順や紹介する弔電など式典に関する打合せ
- 受付係員への挨拶
- 僧侶への挨拶(お布施のお渡し)

- ・ 本来は、後日改めて寺院に伺い、お礼の挨拶をかねてお渡しするものですが最近では葬儀当日にお渡しすることが多くなっています。

### 葬儀・告別式 (仏式の一般的な流れ)

- ・ 僧侶入場・合掌・開式
- ・ 読経
- ・ 引導作法など
- ・ 弔辞・弔電紹介
- ・ 読経再開
- ・ 焼香 (※遺族は立礼または座礼にて会葬者をむかえます。)
- ・ 僧侶退場
- ・ 喪主挨拶
- ・ お別れの時間

### 出棺

**火葬場でお別れ** (※火葬場によってお顔をみてお別れできないこともあります。)

※お骨上げ・初七日法要・精進落としは、地域や状況によって前後します。

### お骨上げ

**初七日法要** …お骨上げのお経とあわせて繰り上げて行われることがほとんどです。

**精進落とし** …本来、四十九日の忌明けに行うものですが、最近では葬儀後に繰り上げられます。

- 始まりの挨拶と散会の挨拶

### 帰宅

…お骨・位牌・遺影写真を安置して、お線香をあげましょう。

### 中陰壇の設置(四十九日まで)

- ・ 葬儀社で準備があるか確認しましょう。自宅にある台に白布をかけ安置してもよいでしょう。仏具は枕飾りで用いた白い陶器のものを使用します。